



今月のトピックス

企画展示

「夏目漱石没後100年展」

12月1日～15日

場所 図書館1階展示コーナー

12月9日は夏目漱石の命日です。それにちなみ、漱石本人や作品に関する紹介をパネルで展示します。愛西市読書会のメンバーがそれぞれ分担し、執筆したものです。館内の本とあわせて是非ご覧ください。

企画展示

「津島市、70年の物語」

12月中旬より開催予定

場所 図書館1階展示コーナー

来年3月で市制施行70年を迎える津島市。その歴史はどのようなものだったのでしょうか？終戦直後の混乱期や市制が施行された当時の様子、そしてその後の歩みを写真などから振り返ります。

図書館のシステムが新しくなりました

11月19日より図書館のシステムが新しくなりました。チラシ・ホームページに詳しい説明がありますのでそちらをご覧ください。

また、図書館ホームページに以下の機能が追加されましたのでご紹介します。

1. 検索画面で本の画像を見ることができるようになりました。
2. 「My本棚」の機能が追加されました。
「読んだ本」「読みたい本」などを登録し、リストを管理できる機能です。
3. 書評（レビュー）・評価機能が追加されました。
読んだ本の感想を投稿できる機能です。星による評価のみ、つけることもできます。

年末年始休み



12月29日(木)から1月3日(火)まで、休館します。
返却は、本館返却ポスト、もしくは津島駅構内(津島総合案内所)の返却ポストまでお願いいたします。

なお、CD・DVD・ビデオは破損の恐れがありますので、ポストへの投函はご遠慮ください。

メリークリスマス！

12月25日のクリスマスにちなみ、「クリスマス」に関する本をご紹介します。

『13番目の贈りもの』

ジョアン・フィスト・スミス/著 川田志津/訳 東洋出版 936ス

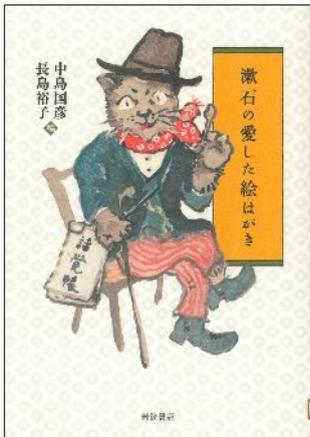
『手づくりクリスマスBOOK』 パッチワーク通信社 594テ

『サンタクロース公式ブック』 パラダイス山元/著・監修 小学館 386ハ



新 着 図 書

『漱石の愛した絵はがき』 中島国彦・長島裕子 / 編 岩波書店 910.2 ソ



今年没後100年を迎える小説家、夏目漱石。数々の名作を生み出した漱石は、実は手紙が大好きでした。しかし、その手紙の多くは彼自身の手によって処分されているため、現在はほとんど残っていません。その中で残されていたのが絵はがきでした。

本書ではその絵はがきをオールカラーで掲載。その内容は海外から送られてきた絵や本の感想まで多岐に及びます。また、友人、弟子、家族など多くの人から差し出された絵はがきは、漱石の多彩な交友関係をうかがわせます。

絵はがきが映し出すのは周囲の人々と関わる漱石の姿。本書から彼の新たな一面が見えてくるかもしれません。

ベストリーダー

先月の利用の多かった本をご紹介します

- 『料理通異聞』松井今朝子/著 料亭・八百善をどのようにして躍進させたのか。栗山善四郎の一生を描く。
- 『いつもの材料でおいしい和えもの』大原千鶴/著 基本の和えものから主菜になる和えものまでを紹介。
- 『強父論』阿川佐和子/著 昨年、94歳の大往生を遂げた阿川弘之氏。娘である著者が語る父の姿とは…。
- 『最強の経営者』高杉良/著 アサヒビールに乗り込み経営を再生させた男、樋口廣太郎の姿を描いた小説。
- 『励み場』青山文平/著 代官所に勤めていた笹森信郎は、武家になるため妻の智恵を連れて江戸に出る。
- 『紫式部の娘。賢子がまいる!』篠綾子/作 目指すは貴公子との大恋愛!紫式部の娘・賢子が宮仕えに。
- 『英EU離脱どう変わる日本と世界』安達誠司/著 イギリスのEU離脱が世界経済に与える影響を解説。
- 『浜内千波の炊飯ジャーでおかず革命』浜内千波/著 炊飯ジャーで簡単にできる料理レシピ62品を紹介。
- 『昭和なくらし方』小泉和子/著 昭和のくらし博物館館長の著者が伝える、捨てない・買わない暮らし方。
- 『このあたりの人たち』川上弘美/著 著者が8年の歳月をかけ創り上げた不思議な場所に住む人々の物語。

図書館のホームページをご利用ください

本の検索や、行事などの予定、図書館員のコラム(「図書館だより」)など、ほぼ毎日更新しています。スマートフォン向け検索画面もでき、より便利になりました! キーワードは「津島市立図書館」。
<http://www.lib.tsushima.aichi.jp/>

休館日

27日(火) 毎月第4火曜日)
29日(木) ~ 1月3日(火)
(年末年始)

津島市立図書館

〒496-0854 津島市老松町1-1
電話(0567)25-2145

